

平成24年度「離島の活力再生支援事業」の選定結果（概要）

○ 選定された応募団体名、案件名（概要）

応募団体名（対象離島名）、案件名	概要
<p>八丈島産業育成会（東京都八丈島） トライランド・アスロンによる島の活性化モデル構築</p>	<p>八丈島の入り込み客数は約36年間で半減しており、この傾向に歯止めが掛からない状況にある。一方、島内には、景観の素晴らしい自然や、歴史と伝統、さらには農林水産物や固有の食品がある。島内には、高いポテンシャルの地域資源が豊富にあるが、これらが島の活性化に十分活用されていない状況にある。</p> <p>本事業は、新たな客層として、「アスリート等」を来島ターゲットとして設定し、新たな競技観光需要を創出する。また、リピーターとして再来を促し、二地域居住者や移住定住者の増加に繋がる事業を展開する。</p> <p>具体的には、体験ツアー、スポーツ観光、ウェルネスツーリズム、エコツーリズムを渾然一体とさせた「トライランド・アスロン（仮称）」という新たな競技を創出し、「競技の標準化」と「第0回トライランド・アスロン（仮称）競技大会の実施」等を行う。</p>
<p>緑のコンビナート推進協議会（島根県島後） 隠岐の島域内分散型防災・ビジネス対策事業</p>	<p>本事業は、東日本大震災を1つの背景とした防災・減災とエネルギーセキュリティの確保への気運の高まりの中で、災害時には集落等の孤立やライフラインの断絶に対応し、平常時には新産業と雇用の創出の契機となりうる施設導入（再生可能エネルギー、食料供給機能、飲用水供給機能）による避難施設の高付加価値化モデル計画を策定することにより、導入施設による雇用効果と関連産業への波及効果による隠岐の島の活力再生に取り組むことを目的とする。</p> <p>また、これと関連して、防災・減災関連施設とともに、災害時の緊急・応急手当等に役立つ自然（食物、薬草等）が島内では身近であることから、改めて地域住民の自然環境意識の持続可能性を追求する啓発活動に取り組むことを目的とする。</p>
<p>奄美市（鹿児島県奄美大島） 地域力の活用による世界自然遺産登録に向けた観光客受入体制構築事業</p>	<p>奄美市住用町は、特別保護区のマングローブ原生林を中心に観光地の拠点となる。しかしながら、マングローブ原生林以外は、地の利を活かした観光の産業化に至っておらず、他地域のネイチャーガイドが住用地域の自然を観光案内しているのが現状であり、地域住民の自然への関心も高いとは言えない状況にある。そのようななか、地域住民の有志によって課題解決に向けた取り組みについて検討し、実現に向けて動き出したところである。</p> <p>本事業は、その最初の活動として、地域住民の自然保護に関する意識醸成を目的として、自然環境保全への啓蒙啓発活動（先進地講師派遣、地域美化活動）を行い、地域住民に対し世界自然遺産登録への関心を促す。</p> <p>このような地の利を活用し、地元住民のガイド育成を図りその土地ならではの体験観光を提供することで、交流人口の促進と地域活性化につなげることを目的とする。</p>

○ お問い合わせ先

国土交通省国土政策局離島振興課 富永、金子

電話 03-5253-8111（内線29-626）03-5253-8421（直通）